

なごみ

7月号
vol. 077

特集：都市のインフラ

人と人との
つながり関係
VOL. 02

なごみ

「西成で働くママたち」

人とゴミとの ふがみ関係

vol.02

「ふとんはゴミ？」



ミサイズに抑えれば、燃えるゴミで無料？という裏技もあるようです。

ふとん 3000万枚
杉 2750万枚

「最近、ふとんを買い換えましたか？」
日本ふとん協会によると、掛けふとんで5年、敷きふとんで3年サイクルの買い替えがおすすめのようです。私の学生時代はほぼ万年床で、買い換えるところか、干した記憶もほとんどなかったのですが、調べると、一晩でコップ一杯ほどの汗を吸収。汚染されたふとんはアレルギー性疾患の原因。などなど、ふとんの衛生管理は快適なくらしには欠かせない要素だったんですね。

では、いざ買い替えとなるとふとんの処分が必要になります。昔は、綿が貴重で「打ち直し」をして、再利用することが多かったのですが、新品のふとんセットが5000円で手に入る時代では、ゴミとして処分する方が経済的ではないでしょうか。

多くの自治体ではゴミ処理施設にふとんを持ち込めば無料ですが、収集を依頼すると粗大ゴミとして手数料をとるケースが多いようです。大阪府は200円ですが、5000円の自治体もありました。ただ、切り刻んで家庭ゴ

ゴミ処理施設に運ばれたふとんは焼却されます。ある試算によると、ふとん1枚の焼却で二酸化炭素(CO₂)は約12.81g発生し、1本の杉が1年間で吸収できるCO₂は14gなので、ふとん1枚を焼却するたびに、杉を1本補えないと発生したCO₂を吸収できないこととなります。

そして、驚きなのが、ふとんの埋蔵量と廃棄量。世帯平均で6セットのふとんを所有しているそうで、日本の家庭には5000万世帯×6セット＝3億セットのふとんが眠り、世帯数の半分近く約3000万枚が毎年、廃棄されているそうです。単純計算すると、384.8トンのCO₂が発生し、CO₂ゼロの観点からすると毎年2750万本の杉を補える必要があります。

CO₂ゼロは非現実的ですが、こんな状況にチャンスを見出し、ふとんリサイクル事業を新しくはじめた社会福祉法人加島友愛会の酒井さんと市村さんにお会いしてきました。

ふとんの種類	一般的な買い替えの目安
綿(コットン)ふとん	掛けふとん → 約5年 敷きふとん → 約3年 ただし打ち直しでの再生が可能です。
合繊(ポリエステル)ふとん	掛けふとん → 約5年
羊毛(ウール)ふとん	敷きふとん → 約3年
羽毛(羽根)ふとん	掛けふとん → 5年に1度は痛み具合を点検し、必要ならリフォーム
真綿ふとん	掛けふとん → 約5年

※一般財団法人日本ふとん協会HPより (<http://www.japan-futon.or.jp/syo10-qa.html>)

環境×福祉

家庭に眠る資源

加島友愛会は就労継続支援A型として、リネン(クリーニング)事業に取り組んでいます。

一般就労を目指し、就労移行支援事業所を中心に障がい者の就労支援に積極的に取り組んできたのですが、大阪府の積極的な障がい者雇用推進施策の影響もあり、重度障がい者の利用が増加。それに伴い、2年間という利用期限のある就労移行支援だけでなく、もう少しロングスパンの支援を始めようと、A型に着手しました。

病院や介護施設で使用されたふとん・着衣のリネン事業は安定的な事業ではあるのですが、もう少し付加価値の高いしごとを検討するなかで出会ったのが、ふとんのリサイクル。2012年の10月から、豊中市の緊急雇用事業を活用し、環境×福祉で「はたらく場づくり」を目標んだ事業を実験的にスタートさせた。

豊中市の人口は393,345人、世帯数は170,584世帯。人口の3分の1とも世帯数の半分とも言われる年間のふとん処分量は、85,000〜130,000枚枚程度と推計されます。

でも、どのように回収するのか1つのポイントです。豊中市の事業ということもあり、行政協力のもと「①焼却施設でのふとん回収BOXの設置」「②粗大ゴミ利用者への事業案内」「③回収イベント」「④直接回収」の4つのパターンで住民とのチャンネルを用意しました。その結果、実質5ヶ月で4000枚の回収に成功。月2回の回収イベントは市の広報も活用し、2トトラック2台が一杯になるほどの大盛況で、ふとんは家庭に眠る資源という観点で非常に可能性があることが裏付けられました。

ムセンターでは約1000円で販売されています。これを製造できれば、1枚300円ぐらいで買取りただけの企業もあります。もし、現行の豊中市の布団回収費用300円をいただけとしたら、材料費も0円で魅力的な事業に育つと考えています。

業者に原料を提供するだけでは、収益性には大きな期待ができません。また、「中国や東南アジア製の安いふとんには敵わないだろう。」という声もあるとは思いますが、ふとんの中身である「綿」はかさ張るので、リサイクルでも輸入品と勝負ができます。

収益性の向上にむけては「最終製品の製造」が不可欠です。その1つの候補が「長座布団」です。なじみのない方もあるかと思いますが、子どもであれば横になれるサイズの座布団で、ホー

福祉・ゴミ・行政のトライアングル

ただ、業として回収・販売する



おふとん10枚を燃焼すれば、約10本の杉の木。100枚なら約100本、1000枚なら約1000本のCO2を吸収する杉の木が必要なのだ!!

ことになれば「一般廃棄物処理業」や「古物商」の許可が必要になったり、行政の応援が受けられるかといった問題がでてきます。1日5t以下であれば、廃棄物処理の許可はいらないようですが、「ふとんはゴミではない」のだから、ふとんリサイクルは「廃



完成した長座布団



回収イベントの様子

「薬物処理業は不要ではないの?」といったところがネックです。ゴミの減量や障がい者のはたらく場づくりといった問題を、福祉・ゴミ・行政のトライアングルで解決できるようにしていきたいですね。

取材後記

粗大ゴミは有料回収が基本です。その中でリサイクルが可能なお品を資源として回収すれば、大きなマーケットになるのかもしれないと実感できました。最近では不用品の無料回収を案内するチラシもよく目にします。「燃やせばゴミ・分ければ資源」とはよく言われますが、資源化するための仕組みがないために、「ゴミとして処分されているケースも多くあるようです。加西市では廃ふとん類を再生資源として、運搬・処理業務の入札参加者には、ふとんを国内でリサイクルすることを求めています。

各自自治体の工夫でゴミをリサイクル産業として育てることもでき、はたらく場も生まれる。そんな可能性を感じた取材でした。大阪市の家庭「み民営化」で検討されている「新会社」にもこんな視点があったらいいな。

(田岡)

付加価値で収益性向上

モデル事業では回収したふとんを「洗濯」↓「乾燥」↓「滅菌」



杉1本がCO2を吸収する量は、14グラム

おふとん1枚の焼却におけるCO2の発生量は12.81グラム

「カバー剥ぎ」。むき出しとなった「中綿をリサイクル業者へ納品」という工程で19人を新たに雇用しました。単純な作業であり障がい者との親和性は確認できたのですが、単にリサイクル

【田岡秀明】日本唯一の飛地村(北山村)に初のコンビニができ、行列の大賑わい。買物難民は過疎地だけでなく、実は都市部にも。いつか紹介できるかな〜。

サウスオブミナミ

vol.04

ところで「なび」はどこで手にはいる!? 特集



古着屋 リ.3.5
ステキな一着 4200円から

長橋かいわい
まちづくりの先達地!
「なび」誕生の地!



市民交流センター-はらり
いろいろな講座やイベント



あなぐま亭
こだわりの一品お弁当



喫茶 EARTH
展覧会イベントも開催中!



ナイス薬向
みんなの健康、見守ります



くらし食堂
おlishをお楽しみください!



西成市民館
貸館あり! 展示の開催OK

新今宮かいわい
人も情報も集まる国際的!?
要所SHIN-IMAMIYA



COCO ROOM
アート地蔵の展示も開催中!



キマリ-あしたの箱
人との出会いの場



聖天坂・天神ノ森かいわい
都会の坂&森のおもしろオアシス



あまぞらアトリエ
みんなと楽しくおしゃべり

今更ながら、なびを置いている場所をリサーチしてみました。リニューアル後、いろんなところで手に取っていただけるよう、鋭意配布場所を開拓中です。なにせ人海戦術でお渡ししているので、ぼちぼちしか数は増やせていませんが…。

なかでもいつもお世話になっているところを勝手にセレクト。みんなの笑顔をつなぎながら、地域の力を広げていきたいと思っています。今回、紹介できなかった場所もたくさんあります。ぜひ7月号を片手に、載っていると、載っていないとこあちこちめぐって、なびを探しに出かけてみてください!

- ※その他、配布している場所(一部)
- ・BELLA FAVE(ベッラファーベ) (西成区長橋)
 - ・can tutku(ジャン・トゥトゥクー) (西成区松)
 - ・uni.neu(ユニ・ノイ) (西成区岸里東)
 - ・新・福寿荘(西成区山王) 他

※なびの配布部数は1,000部と限定されており、できるだけお手に取ってもらえるよう努めますが、在庫切れの場合はご了承ください。なお、web等でもご覧いただけますので、こちらでも活用ください。

<http://www.nice.ne.jp/>



プロフィール
福月智子
家では0歳と2歳の女の子を子育て中、仕事では「ガニ」というニックネームでたくさんの子どもの顔をみるおねえちゃん・おかあちゃんといった存在。家庭と仕事の両立に奮闘中の「パワフルかあちゃん」です。

菅育子
思春期真っ只中の娘と向き合い、奮闘しながら朝は岸里つどいの広場、昼からはお店で働き、日々子ども達のことを考えるほっこりママです。

お湯がげん

あちらも霞ヶ関、こちらも霞ヶ関

この拙文は、参院選告示直前に書いていたが、読者のお目に留まる頃には、自民圧勝で幕を閉じていることだろう。電力会社労組の比例候補者を担いではばからないほどに節操を失くした破産状態の民主党が相手なんだから、当然の帰結だ。せめて大阪改革で勢いのある維新とみんなの党が、「反霞ヶ関」で争点を作ってくれたらと期待してきただが、橋下さんが、「石原さんとの合流」「従軍慰安婦」「八尾空港」とオウソゴールを連発して、ワヤにしてみました。


元々、橋下さんには舌禍癖があるが、従軍慰安婦発言は舌禍にも程があるという類だった。「侵略」はきちんと認めた(保守

政治家としては珍しい)のだから、侵略した国の女性を慰安婦にした過程に「強制」があったと疑われるのは当然と言い切らないと。中国や韓国側の慰安婦問題の誇張は度が過ぎてると反論するにしても、立証責任は侵略した側にあるのは、弁護士なら自明のはずだから、侵略責任、人権責任を再調査すると言えは良いのに、言うが勝ちの「そこまで言ったら委員会」調が抜けな。政治家なんだから、舌禍は直ちに謝罪すべきなのに、例の調子でまくしたてて、大阪改革を色褪せさせたのは、大阪市民への冒とくに近い。

「なび」読者もご承知のように、ボクは、河島英五の唄のよ

うに、「生意気ぐらいがちようどいい」と橋下改革に寛容を通してきたが、反自民の陣営は(ボクの周りの社会運動や労働運動の人たちも)、橋下さんのやることなすことが嫌いだ。小沢一郎さんの時もそうだったが、ここまで好き嫌いが過ぎるのは困ったもので、只々自民党を利わって、自民党は「霞ヶ関政治」に先祖返りし、反自民、反橋下の人たちも、モグラ叩きから逃れるもぐらのように、「自分の霞ヶ関(既得権益)」に引き籠っているように見える。

ボクは、ずっと前から、生活保護は「減らす/守る」ではなく、「活かす」のが改革と言ってきたが、今度の改革法案(廃案になったが)は段々そうになってきた。野党は、生活保護でもこれだけの改革をやるのだから、社会保障制度全般で既得権益を排する改革をやるうとは言わない。それどころか、生保改革にさえ興味がないみたいだ。ボク



副ナイス代表取締役 高野一幸

人間のしあわせ、個社のあり方、そして新しい社会の結びつきを求めて、これからも「いい湯かげん」のテーマ探しに出かけます。

【西井恵介】先日、4月にオープンしたグランフロント大阪にはじめて行きました。西成とも阿倍野とも違う東京的空間を体験。まだ見上げてだけのハルカスにもいかないと...

は、「なび」2月号で、部落解放運動がめざした水平社会をソーに例えて、水平線の上の人が、水平線まで下がってくる力で、水平線の下の人を押し上げるのも社会運動で、コンセプトは「互助」だと書いた。水平社会は、永遠の彼方の目標ではなく、ソーのように揺れ動く、現実社会の目標だとも書いた。中川治前衆議院議員など知人の捲土重来組は、国会に戻って霞ヶ関と闘う前に「自分の霞ヶ関」と向き合わないと、次も負けるし、ボクたちの社会運動もまた再生しない。これが、ボクの選挙総括だ。

【飯田沙保里】なびがリニューアルされてから4ヶ月目の今月号。早いもので、もう夏です☆夏祭り楽しみですね♪

第4弾は、ママトーク。今回は阪堺電車に見える天神ノ森近くの小さなお店、ユーニ：ノイでおしゃべりに花を咲かせました。ゲストはユーニ：ノイの菅さん。雑貨、貸本、ワークショップなどぎゅっといろんなものがつまったお店には、子どもたちの元気な姿も。線路を挟んで向かい側に住んでいたこともある福月さんとは、偶然お店で出会った仲。そんな二人のお話は子どもたちへのアツク！そしてあたたかい眼差しを感じました。

- 福月：お向かいのユーニ：ノイは前々から気になって、友達に教えてもらって行ったのがきっかけです。
- 菅：それから何度か来てくれて、こどもの里のことも教えてくれたよね。そのころは私自身、子どものことは何もしてなかったな～
- 福月：行くたびにちよっとずつ親しくなりましたね。でも、ここは、なんで子どもたちも遊びにくるお店になったの？
- 菅：震災がきっかけやねん。いろんな葛藤があったけど、現地には行けなかった。ぐるぐると考えてるとき、ガニちゃん(福月さん)としゃべってた里(こどもの里)のことを思い出して。できることがこんなに目の前にあるやんかって！
- 福月：里にはじめて来てくれたとき、「めっちゃかわいんやん！」って子どもたちに言ってたやんね。
- 菅：やっぱりどの子もかわいい！それまでは、里には、なんでかわかんけど行ったらあかんと思ってた。
- 福月：あるある。私も最初は子どもに対して自分の壁を感じた。でも何ができるんかやなくて、どう接するんかかも。
- 菅：里の子はみんな思いっきり自分を出してると思うわ。
- 福月：でも、自分を出せる子、出せない子っておるよ。
- 菅：子どものことを知りたくていろんな勉強会に行ったけど、実際に子どもと接したほうが学べるって実感してる。
- 福月：今は自分の子どもも、里の子どもも、どっちもかわいくて大切。そろそろ夏祭りやし、娘に地域とも関わらせたいな～。こっちで暮らしてたときは、夏になると子どもたちの祭りの太鼓が聞こえてきた。

- 菅：地域っておもしろいよね。ここはちょうど西成区と阿倍野区の境に位置してて、それぞれから子どもたちがくるけど、地域の違いが見えてきたりとか。
- 福月：たとえばしんどい時とか、吐き出し方も違うよね。
- 菅：どこかに吐き出す場があればいいな～ってはじめたのが、貸本。本を借すことを通じて、何かをキャッチできるかなと思って。
- 福月：そうなんや！里とユーニ：ノイ、それぞれ違うけど、子どもたちの居場所になってるんやね。
- 菅：そうやね。でも、してあげてるって感じではないねん。
- 福月：私は、里にきて10年。いろんな子どもたちと接してきたけど、大きくなった子どもがふらっと寄ってくるとうれしいね。もちろん、いつも来てくれるのもうれしいけど。
- 菅：ここに来てくれてた子が、お店の前をチリンチリンって鳴らしながら自転車を通り過ぎてくれたりして、そんなことがめっちゃうれしい！
- 福月：そんな子どもたちが立ち寄れる居場所が、小さくていいから増えたらいいな。
- 菅：里の支店とかは？
- 福月：いろんな意味で必要やと思う。でも、人の力が必要やから難しい。今の行政の施策は逆行してると思う。
- 菅：大人の事情でややこしくしてる感じやんね。小さくてちょっとしたことなんやけどね。みんなむつかしく考えすぎ！シンプルなところに答えがあると思うねん。
- 福月：あと今は、子育てと仕事、時間との戦い！今、里でも自分の子どもと過ごす時間もぎゅっと縮んでいて。里の相談にのつたら帰るのが遅くなったり、悩んだりもする。
- 菅：でもそれはそれが必要なやと思うよ。何にしても、自分の健康は大切！自分が倒れたら何もできなくなるからね。
- 福月：うんうん。みんなで助け合いながら、かたく考えずに、居場所も子どもも育てていけばいいね！

今回はホストを菅さんへバトンタッチ！

【平川隆啓】サウスオプミナミの取材などで、いろいろ立ち寄る場所が増えています。ユーニ：ノイさんもそのひとつ。夕方行くと、子どもたちが遊んでいますよー！



才蔵さんに興味を持ち始めたのは平成12(2000)年になったばかりの真冬のころだった。私は和歌山県の北部を取材していた。岩出町(現在は若田市)の畑地に築かれた藤崎井用水路(写真)のそばの水門が開かれ、勢いある清流がくもり空の下を流れていた。その堰の近くに立ち、自らの畑地の作物の出来を眺めている農夫に、用水路を確認するため私は声をかけた。

「ここは藤崎井ですよ。」

「そうやね。才蔵さんが作った用水や。才蔵さんのおかげでこの暮らしに役立っているよ。才蔵さんは立派な人よ。」

彼はまるで才蔵さんがそこに住んでいるかのように話をしてくれた。それは歴史から消え去った

枝葉末節

才蔵さん その1



hidarimaki こと佐々木です。くらし必探室を12年。女びは7年目。美塾は6年目に突入。西成を越え、必探室の声援があったからこそ。

不在者をわが身に住まわせている、そんな誇りのようなものを感じさせた。

この数日前にも、高野町(現橋本市)で私は同じような経験をしている。小田井の用水は紀ノ川の水門からすぐに暗渠になるが、その水門を眺めていると、近くの公園で焚き火にあたっていた老人が私に声をかけてきた。

「それにしても才蔵さんという人は本当に偉い人だね。」

その時もその老人の言葉に、私は300年もの時空を飛び越えて、いまだこの地で隣人として親しまれている才蔵さんが思っているという不思議な感覚を覚え、彼の美在感に触れた気がした。その後この地方の取材で才蔵さんへの業績をたたえる声をよく聞いた。

才蔵さんというのは大畑才蔵(おおはたさいぞう)のことだ。元禄から宝永の江戸中期にかけ、紀州の農業用水路の開削に活躍した普請奉行である。学文路村(かむろむら)に現和歌山県橋本市学文路の庄屋の息子として生まれたが数学を好み、村の測量役などをするうち、政治にもかかわり、55才という高齢で紀州藩の下級役人に任命されている。



良泉は吉野川と河川名称が変る。川に関する調査を依頼された。発注元は建設省(現国土交通省)だ。

この取材が始まる前年くらいから、調査の準備作業は行われていた。もともとは吉野川上流の川上村に大滝ダムが建設されたことから始まる。ダムを持つ川上村は、水質汚染、生態系、資源、文化、生活など下流域の人たちへの影響と暮らしの意識を知る必要があった。クライアントである代理店から紀ノ川、吉野川流域(和歌山県は紀ノ川、奈良県は吉野川と河川名称が変る)に関する調査を依頼された。発注元は建設省(現国土交通省)だ。

私は紀ノ川、吉野川流域の自治体3市12町村(当時)全てに渡っての聞き取りを考えていた。そこで流域の各自治体、森林組合、漁業関係者、酒類や醤油会社、自然環境保護団体(ダム建設反対派も含む)や観光事業団体、神社仏閣、そして住民など少しでも河川環境や河川事業に関わる人や団体からの聞き取り、地理的資源の調査活動を目的とする企画書「河川環境調査計画書」を提出していた。この取材はその企画案が採用され実施されたものだ。

準備段階で才蔵の存在を知った。しかし多くの素材の一つにすぎなかった。才蔵のことはその後の現場を歩くことで、その凄さを知らされていくのである。

5ヶ月をかけたこの調査は、大畑才蔵を対象とした調査では勿論なかったが、さまざまな資料を作成しているうちに、才蔵の農業への考え方や人物の魅力を学ぶことが出来た。今にして思えば、彼の哲学は、この河川環境調査こそ活かされるべきものだったのだ。

十数年前に知った大畑才蔵の記憶と風景を思い出しながら次号に稿を進めたい。

hidarimaki



カフェ+ギャラリー can tutku (ジャン・トゥトゥクー) 西成区松 1-1-8 出口ビル 1F Tel: 06-6656-4334 <http://cantutku.sensyuuru.com/>

今後の予定ピックアップ

●世界一小さな演劇祭日
いるんなものを読むリーディング(朗読)の演劇祭。戯曲を読む。身体を読む。未来を読む。2年目を迎える今夏は、3団体が出演!

- 本誌みのり時間 #3!
8月3日(土) 19:00~、4日(日) 13:00~/17:00~
- 出陣インコーカフェの場合~
8月24日(土) 18:00~、25日(日) 13:00~/16:00~
- あななのわたしと、ぼくのみ
8月31日(土) 20:00~、9月1日(日) 14:00~/18:00~

●Plant M No.3 番外編『プフウンノイズ』
数人の作家による朗読。
劇作家: 中村賢司 徳島美幸 宮沢十馬 富川国剛 樋口ミユ
出演: 出口弥生ののあどみ 村上優子 吉川貴子 ほか
演出・構成: 樋口ミユ

2013年9月2日(月)~6日(金) 各日20:00~(約1時間)
チケット: 前売り1500円/当日2000円/高校生1000円
問合せ先: plant.miyu@gmail.com / 090-9160-7847



育てる空間

26号線沿いに花園駅を南へ歩くと、ちょっと雰囲気になるカフェ・ギャラリーがあります。cantutku (ジャン・トゥトゥクー)。その空間をあけると、黒い天井とやさしい木の壁。そして木のぬくもりを感じられる床の空間がゆったりと広がっていました。今年でオープンから7年目を迎え「ようやく小学生1年生になれました」とcantutkuを運営する出口さんと中野さんとアートディレクターの樋口さん。元々は演劇の稽古場としてスタート。今ではライブやショー、展示会など、演劇の枠組みを超えて、家具職人、服飾デザイナー、現代アーティストなど異なるジャンルを掛け合わせた企画も開催されています。空間としての可能性は模索されているその場所では、演劇を口をきかずに、いろいろな人が行きかう場が育まれています。



ピースの育ての母の赤井まゆみです。ピースがお喋りしたい事や思っている事を、これからもたくさん感じ取って、みなさんにお伝えしたいと思っています。

ピースのつばやま



「前世」
人は誰だってはめられると、とっても嬉しい。
私も同じ。しっぽが扇風機の「強」のようにグルグル回る。人は誰だっておこられると、とっても悲しい。
私も同じ。しっぽが扇風機の「切」のようにピタッと止まる。人は誰だって優しくされると、ありがたうって「こころ」に思う。
私も同じ。「こころ」の中がありがたいの気持ちであふれてしまう。人は誰だって冷たくされると、寂しいと「こころ」に思う。
私も同じ。「こころ」の中が寂しい気持ちで沈んでしまう。
まったく違う姿の人と私。でも「こころ」は同じ気持ちの人と私。
私の前世はもしかして人かしら? ワンワン!!

赤井まゆみ



思ったら! にしなりカレンダー

夏祭り系

伝統ある大阪の夏祭り! 西成でもだいがくや神輿、山車などまちをいろどります!

夏祭@数津松之宮大國主神社西成分社

7月16日(火)・17日(水)

夏祭@津守神社

7月20日(土)・21日(日)

夏祭@廣田神社

7月22日(月)・23日(火)

夏祭@天神ノ森天満宮

7月24日(水)・25日(木)

だいがく祭@生根神社

7月24日(水)・25日(木)



地域イベント系

イベントも盛りだくさん! 地域との交流や新しい世界にふれるきっかけに!

第39回西成区民まつり

8月4日(日)

いろいろな地域からの模擬店をはじめ、パレードや抽選会などで市民が交流!

第2回大阪ちゃん電バル

8月10日(土)

大阪が跨る阪堺電車の沿線のお店を中心に、楽しい食べ飲み歩きイベント!

TACT/FEST 大阪国際児童青少年

アートフェスティバル

7月29日(月)~8月11日(日)

子どもから楽しめる演劇・音楽・ダンスなどのさまざまな舞台作品を公演!

盆踊りみこし系

盆踊りに子どもたちのおみこし!
ゆかたやハッピー姿で夏の暑さを吹きとばそう!

南津守こどもみこし会

7月13日(土)・14日(日)

北津守こどもみこし会

7月14日(日)

津守こどもみこし会

7月21日(日)

こども夏まつり(飛田ふれあい会館)

7月24日(水)・25日(木)

ふれあい・ささえ愛まつり(今宮小学校)

7月27日(土)



西成区北西部まちづくり推進納涼盆踊り大会(長橋3公園)

8月2日(金)・3日(土)

第30回橋子どもお楽しみ会(橋小学校)

8月3日(土)

千本郷土まつり(千本小学校)

8月18日(日)・19日(月)

北津守女性部主催盆踊り(北津守新道児童遊園)

8月23日(金)・24日(土)

弘治ふれあい盆踊り大会(弘治小学校)

8月24日(土)

子ども夜店大会(天下茶屋小学校)

8月31日(土)

あとがき

今月は「創刊から7年目の7月号 vol. 77」!
なんだかお目出たい感じがします!!

今回は、なびを置いてくださっている場所を巡りました。突然現れて、「なびを持って写真を撮らせてください!」とのお願いに、みなさん嫌な顔ひとつせずにお答えいただいて、あらためて、この町の幅の深さを感じました。ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました!

(高橋)

なび7月号(vol.77)

発行日: 2013年7月10日(創刊日: 2007年1月1日)

発行: 株式会社ナイス

発行人: 代表取締役 富田一幸

印刷: 有限会社前山金広

住所: 大阪市西成区長橋3-6-33 電話: 06-6563-1156

E-mail: info@nice.ne.jp url: http://www.nice.ne.jp/

編集長: 佐々木敬明

編集: 田岡秀朗、平川隆啓、四井恵介、飯田沙保里

イラスト: hidarimaki

デザイン・表紙写真撮影: 高橋静香

(表紙の写真は「uni:neu」で撮影しました。)